



- 七羽黒 神社巡りコース**
- 1 上羽黒神社  
▼約2.6km
  - 2 外塚羽黒神社  
▼約2.4km
  - 3 下岡崎羽黒神社  
▼約3.3km
  - 4 竹島神社  
▼約10km
  - 5 大根田羽黒神社  
▼約6.2km
  - 6 〇戸羽黒神社  
▼約6.9km
  - 7 下羽黒神社



**七羽黒 鬼門**

**6 大根田羽黒神社**  
久下田城の鬼門(北東)に当たる神社。  
住所: 栃木県真岡市大根田地内

**久下田城跡**  
栃木県との県境に位置する城跡。天文14年(1545年)、第6代下館城主であった水谷政村(蟠龍齋)が、宇都宮氏の来襲に備えて築城。下館の支城とし、小栗・小田・北条・海老ヶ島を攻略する基点とした。現在、城跡公園(二の丸)、空濠などが残っている。  
住所: 筑西市樋口267ほか

**雷神社**  
寛治元年(1087年)に、源義家が後三年の役の帰途、この地に社を建立、凱旋報告をしたのが始まりと言われている。のちに水谷政村(蟠龍齋)の祈願所となった。本殿・幣殿・拜殿は、市指定文化財。  
住所: 筑西市樋口407ほか

**観音寺**  
筑波山を望む台地の上に位置し、勤行川を望む一帯は、雪や桜など眺望に恵まれ、茨城百景に指定されている。御本尊は木造観音菩薩立像(国指定重要文化財)。伊佐城跡でもあり、狩野探幽の墨絵他、数々の貴重な文化財がある。  
住所: 筑西市中館522-1ほか

**〇戸羽黒神社**  
久下田城の病門(裏鬼門・南西)に当たる神社。  
住所: 筑西市〇戸地内

**伊佐城跡**  
仙台伊達家の祖・伊達朝宗(ともむね)の先祖 伊佐実宗(さねむね)が興した城。後に、子孫の一部は福島伊達郡に移り伊達氏を名乗った。(伊達政宗は朝宗から数えて17代目の子孫)南北朝時代、伊達行朝(ゆきとも)が伊達郡から駆け付け共に戦うも足利軍に敗れ落城した。観音寺本堂裏に行朝の供養塔が、二の丸跡といわれる境内には城跡石碑がある。県指定文化財。  
住所: 筑西市中館522-1ほか

**伊達行朝公塔**  
伊達行朝は南北朝時代の武将。南朝方につくため伊達郡赤館(福島県)から一族の出身である伊佐城に来て、足利尊氏率いる北朝方と戦うも落城。その後、観音寺境内に行朝の供養塔が建立された。  
住所: 筑西市中館522-1ほか

**下館の礎を築いた水谷氏と七羽黒神社**  
水谷氏は、藤原秀郷の子孫である藤原景頼から出たといわれています。室町時代、水谷氏は陸奥国岩城郡水谷(現在のいわき市)から結城に入り、結城四天王の一人として活躍しました。後の文明10年(1478年)に下館城築城を許されます。初代水谷勝氏は下館城を守る為、5つの羽黒神社を建立しました。また、6代政村(蟠龍齋)は宇都宮氏に備えて久下田城を築き、周りに2つの羽黒神社を建立しています。これが現在も残る七羽黒神社です。また、水谷氏は東京上野の不忍池弁天堂、下館における定林寺、妙西寺の建立を行い、岡山県高梁に移封後は、備中松山城の修城、さらに定林寺、羽黒神社を下館から勧請し、玉島においては大干拓事業(約700町歩)を実施しました。現在、筑西市と高梁市は友好都市となり盛んに交流しています。

**定林寺**  
水谷氏代々の菩提寺。7代勝俊が寄進した梵鐘に「下館」の文字がある。鎌倉時代の板碑もあり。8代勝隆は上野不忍池に弁天堂を造営し、幕府の命で備中(後の岡山県高梁市)へ移封。現在、高梁市は友好都市となっている。  
住所: 筑西市岡芹957

**1 上羽黒神社**  
下館城の天門(北西)に当たる羽黒神社。下羽黒神社に対して、上羽黒神社と呼ばれ、下羽黒神社に奉納されたものと対になる奉納絵馬がある。(本殿と拜殿、絵馬は県指定文化財)  
住所: 筑西市岡芹968-1

**下館城跡**  
現在の下館小学校敷地が城の中心にあたる。平安時代に藤原秀郷が館を築き、初代水谷勝氏により本格的な築城が開始、3代勝之の時に完成した。城跡にある八幡神社は、享保17年(1732年)に移封されてきた石川氏が建立、令和2年(2020年)に拜殿の改築が行われた。境内には、明治維新の先駆けとなった澁谷伊代作の顕彰碑がある。伊与作は明治天皇の叔父である中山忠光、吉村虎太郎らと共に兵を進めた国士である。住所: 筑西市甲613

**7 下羽黒神社(羽黒神社)**  
文明10年(1478年)、初代 水谷勝氏が下館城を築いた際、領内安堵を願って出羽(山形県)の羽黒大神を勧請。また下館城の鬼門・風門・病門・天門にもそれぞれ神社を設け、合わせて五羽黒神社が建立された。その後、6代 政村(蟠龍齋)が久下田城を築城した際、更に2つが建てられ七羽黒となった。  
住所: 筑西市甲37

**七羽黒 鬼門**

**4 竹島神社**  
下館城の鬼門(北東)に当たる羽黒神社。住所: 筑西市稲野辺28-1ほか

**最勝寺**  
鎌倉時代の創建。その後、寛永5年(1628年)徳川家光公の命を受け天台宗に改められた。境内には薬師堂、釈迦堂兼茶室のほか、さまざまな仏像(十三仏)の教えが込められた庭園が広がり、苔庭や新緑・紅葉など景観を楽しむ住所: 筑西市下平塚57 (薬師如来は市指定文化財)

**2 外塚羽黒神社**  
下館城の病門(裏鬼門・南西)に当たる羽黒神社。境内には、榎様、八坂様など5つの末社が祀られている。以前は境内が舟の形をしており、「舟羽黒」とも呼ばれていたが、昭和55年(1980年)に区画整理によって現在地に移された。  
住所: 筑西市外塚183

**7 下羽黒神社(羽黒神社)**  
文明10年(1478年)、初代 水谷勝氏が下館城を築いた際、領内安堵を願って出羽(山形県)の羽黒大神を勧請。また下館城の鬼門・風門・病門・天門にもそれぞれ神社を設け、合わせて五羽黒神社が建立された。その後、6代 政村(蟠龍齋)が久下田城を築城した際、更に2つが建てられ七羽黒となった。  
住所: 筑西市甲37

**鮭の遡上**  
毎年秋には川を力強く泳ぐ鮭の姿が見られる。  
見頃: 11月上旬~12月上旬  
場所: 勤行川沿い各所

**七羽黒 風門**

**3 下岡崎羽黒神社**  
下館城の風門(南東)に当たる羽黒神社。下羽黒・上羽黒に次ぐ規模を誇る。本殿・拜殿は昭和31年(1956年)4月、鷹場町の大火で焼失したが、同年11月に再建。なお、境内には「願掛石」があり、夜半人に知られず持ち上げて願をかけること成就するといわれている。  
住所: 筑西市下岡崎3-1-7

**妙西寺**  
天正14年(1586年)、6代水谷政村(蟠龍齋)が母(法名: 祥雲院殿蓮室妙西大姉)の冥福を祈り開山した寺。境内には板倉波山の墓、加波山事件志士の墓などがある。  
住所: 筑西市乙657